くらしのすまいりんぐ

地球と人に優しい家づくり・くらしづくりの情報広場

2020年7月1日発行 NO.0073

発行責任者: 예文化舎東毛 〒376-0101

みどり市大間々町大間々1190-4

☎0277-73-4850

今月の話

- 1. 今月の話題 ~雨のにおい~
- 2. 時事ネタ ~再エネ発電促進賦課金~
- 3. 建築知識 ~エアコンの役割は除湿~
- 4. 旬の食材 ~オクラで夏バテ防止~
- 5. 太陽熱の有効活用 ~熱湯で除草~
- 6. 辛口コラム ~パンデミックに山伏の護符~

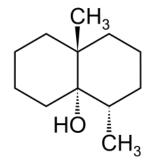


今月の話題 ~雨のにおい~

夏にしばらく晴れが続いた後に雨が降ると、何かいい感 じのにおいがしませんか。

降り始めの雨がもたらす臭いは、雨が地表や植物に衝突する時に地表や植物に付着した植物由来の油脂、有機化合物などを含み浮遊しているエアロゾルのにおいで、ペトリコールと言います。これは1964年にオーストラリアの鉱物学者 Isabel Joy Bear と R. G. Thomas が発見命名した造語したものです。





雨上がりには、ちょっとカビっぽいようなにおいがします。これはゲオスミンと呼ばれ、地中の細菌によって作られる有機化合物を含んだエアロゾルのにおいです。土中の 藍藻や細菌が有機化合物を分解する過程で作られるのですが、池や川にもゲオスミンを 作る藍藻や細菌がおり、臭みのある淡水魚にはゲオスミンが体内に蓄積しているのです。 人はこのにおいにとても敏感で、鮫が血のにおいを感じるよりも感度が高いそうです。

ゲオスミンの化学式

新型コロナでエアロゾル感染という言葉を耳にしましたが、雨の匂いのエアロゾルは無害です。7月は梅雨明けですね。早くマスクなしで雨のにおいを楽しんでみたいものです。



TATSUJINさん ACの写真

時事ネタ ~再エネ発電促進賦課金~

毎月の「電気ご使用量のお知らせ」をよく見ると、「再エネ発電促進賦課金」というものがあります。これはなんだろう?何の金額がかかっているのでしょうか?

● 「再工ネ発電促進賦課金(再工ネ賦課金)」って何?気になったことはありませんか?



毎月の「電気ご使用量のお知らせ」を見ると・・・

電気代の他に「再工ネ発電促進賦課金」というものがあわせて請求されています。 この「再工ネ発電促進賦課金」、正式には「再生可能エネルギー発電促進賦課金」と いいます。(「再工ネ賦課金」とも呼ばれます)



● 再工ネ発電促進賦課金の特徴

- ・電気を使うすべての方にご負担いただくものです。
- 電気料金の一部となっています。
- ・ご負担額は電気の使用量に比例します。
- ・再工ネ発電促進賦課金の単価は、全国一律の単価になるよう調整を行います。
- ・皆様から集めた再工ネ賦課金は、電気事業者が買取制度で電気を買い取るための費用に回され、最終的には 再生可能エネルギーで電気をつくっている方に届きます。
- ・再工ネ発電促進賦課金の単価は、買取価格等を踏まえて年間でどのくらい再生可能エネルギーが導入されるかを推測し、毎年度経済産業大臣が決めます。なお、推測値と実測値の差分については、翌々年度の再エネ 賦課金単価で調整します。
- ・買取制度によって買い取られた再生可能エネルギーの電気は、皆様に電気の一部として供給されているため、電気料金の一部として再エネ賦課金をお支払いいただくこととしております。(なお、再エネ賦課金単価の算定の際、買取に要した費用から、電気事業者が再生可能エネルギーの電気を買い取ることにより節約できた燃料費等は差し引いております。)
- ・再生可能エネルギーの電気が普及すれば、日本のエネルギー自給率の向上に有効です。エネルギー自給率が 向上すると、化石燃料への依存度の低下につながり、燃料価格の乱高下に伴う電気料金の変動を抑えるといった観点から、すべての電気をご利用の皆様にメリットがあるものだと考えています。

● 再工ネ発電促進賦課金に反対する声も・・・

再エネ発電促進賦課金に関しては、反対意見もあるのが事実です。固定価格買取制度の受益者となる太陽光発電の設置家庭は、設置前と比べて太陽光発電からの自家消費分の電力使用量が減ります。つまり、負担する賦課金額も、太陽光発電設置家庭ほど少なくなるのです。一方でアパート・マンション暮らしなど太陽光発電をつけたくてもつけられない家庭では、売電収入も得られない上に賦課金ばかり払わされる、ということで、世帯による格差が増えるというのが多く見られる意見です。

この制度が公平性に欠けることは否定のしようがありません。しかし今のところ FIT 制度の仕組みが大幅に変えられる予定はなく、年々買取価格を引き下げていき、家庭への負担を少しでも抑えようというのが 政府の意向のようです。

年々、再工ネ発電促進賦課金が値上がりしている中、1994年以降から発電所が発電する量に変化がないのも事実です。



建築知識 ~エアコンの役割は除湯~

と湿度も上がり」ますが、世界では暑くなると湿 度が下がるのが普通で、日本とは逆です。

大型ビルの冷房設計をする専門家は、湿度を% とは言わず何グラムと言います。これは空気 1 涼しくなりますが、多湿ではその効果も限定的。 kg (1m×1m×0.83m) が何グラムの水蒸気をも っているかの数値ですが、日本の冬の乾燥した空 気は2g程度まで下がる一方、夏には20gを超え ます。人の体は暑くなるとまず血行を増やして体 の中心部の熱を体表へ送り出して冷やそうとし ます。それが足らないと次は皮膚か汗を分泌し、 水分を蒸発させて冷却しようとします。注射の消 毒アルコールを塗るとスーッとする原理ですが、 空気が乾いていれば水分が蒸発して冷却効果が

日本の夏の暑さは世界的にも独特で「暑くなる 得られますが、湿度が高いとうまく蒸発せず、汗 はべたべた。肌が濡れた状態で水分が蒸発しない ため冷却効果がない状態です。

> うちわや扇風機で風を作ると蒸発が促進され、 結局、エアコンで湿度を減らすしかないのです。

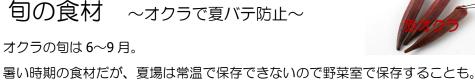
冷房というといかにも温度を下げるようです が、本当は湿度を下げる方がはるかに効果的で、 実際エアコンの電気代の半分以上は除湿に消費 されます。平均家庭のエネルギー消費の中で冷房 の分は 2%しかありません。もっとエアコンを運 転して、不快さを取り除き、頭をすっきりさせ、 能率を上げるのが推奨できる暮らしです。

やっぱりハイブリッドソーラーハウスはエコ ハウスなんですね。



旬の食材

オクラの旬は6~9月。



あまり日持ちしない。原産地はアフリカ東北部。日本に伝わったのは幕末から明治 初期といわれる。「おくら」という名称は、いかにも日本語のようだが、実は英語。 (Okra)

オクラ独特のネバネバ成分には、食後血糖値やコレステロール値の上昇を 緩やかにしてくれる働きがあります!生活習慣病の予防にも、ぜひ食べたい 野菜です。 *β*-カロテンやビタミン E、カルシウム、食物繊維も豊富で、 夏バテ防止にも効果的◎

また、オクラを刻んだりおろしたりして断面を多くし、水分と合わせる と粘りが強くなります。この強いネバネバを生かして、カレーやシチュー などのとろみづけに利用すれば、小麦粉や片栗粉などを使わずにとろみを つけられるので、エネルギーを抑えることもできます。



加熱すると緑色になる

よく店頭に並んでいる

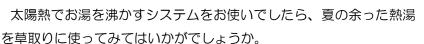
タイプ



太陽熱の有効活用 ~熱湯で除草~

玄関アプローチや駐車スペースの、インターロッキングやコンクリ ートの割れ目などわずかな隙間から生えて来る雑草が目障りではない ですか。抜こうとすると千切れるし、ペットや海洋汚染が心配で除草 剤は敬遠したいという方にお勧めなのが熱湯!

やかん等で、雑草の生えている隙間に 60℃以上の熱湯を注ぎこむだ け。日を分け2回から3回熱湯を注ぐと、雑草は枯れ、しばらく生え てこなくなります。ひろい場所は熱湯が大量に必要になるので、隙間 の雑草退治にお薦め。





少量ですがお湯が地面ではねるので 草履やサンダルはさけて下さい

辛口 コラム ~パンデミックに山伏の護符~

1918 年夏から 1920 年末にかけてスペイン風 邪が猛威を振るいました。 時あたかも第1次大 戦の真っただ中、おまけに今日のようにウィル スを詳細に解析することも感染防止をすること もできない時代だったので、まさにパンデミッ クになりました。当時の世界人口 18~20 億人 のうち推定 5 億人が感染、死者数は 1,700 万~1 億人と推定され、日本での感染数は約 2,400 万 人、死者は40万人と推定されています。災害・ 戦争を含め短期間にこれほど多くの死者を出し た例はありません。

そこで、「山伏」と言われる日本には山岳修行 によって霊力を身につけたとする人々が活躍し ました。山伏は山に限らず里での庶民の信仰と も関わっていたようで、この山伏が当時の世界 的な災いから守ってくれる護符を売り歩いたの です。その証拠を発見しました!!愛知県知立市 で5代続く和菓子屋、都築屋の建物は江戸時代 からのもので、ここには昔山伏が張り付けてい ったスペイン風邪除けの護符として、「アワビ の殻」が入り口に張り付けてあり、護符のおか げか都築屋さんは今も美味しい和菓子を作り続 けています。

しかし問題は、スペイン風邪より恐ろしい区 画整理によって、この江戸時代からの東海道五 十三次宿場の歴史的建物が取り壊されることに なってしまいました。

先の大戦の爆撃で破壊された建物のガレキを 拾って歴史的建物を再構築した欧州諸国を見る につけ、自国の文化遺産を粗末にする国には明 るい未来はないという思いがつのります。

都築屋入口に貼ってある感染防止の「アワビの殻」





THE II TH